

## 中津で薬剤師向け がん化学療法研修

### 医師が参加し支援

中津市の中津市民病院で3日、薬剤師向けの研修会「中津広域『がん化学療法』学びのすすめ」があった。市内外から30人が参加。薬剤師研修としては珍しい副作用によるアピラランス（外見変化）ケアについて学んだ。

研修会は、同病院が2017年から主催し、3回目。今回は新たな試みとして、看護師や医師がファシリテ

ーター（進行役）として参加し、研修を支援した。



ークショップで医療用とファッション用のウィッグを手に取り、違いや特性を確認する薬剤師

化粧品メーカーと毛髪関連メーカーの担当者が指導。がん治療に伴う肌色の変化や脱毛の対処法を学んだ。医療用とファッション用のウィッグの違いなどを知った。乳がん治療についての知識も深めた。

薬剤科主任薬剤師の上ノ段友里さんは「就労世代のがんは増えている。これまでアピラランスケアは見過ごされてきたが、社会生活をスムーズに送れるよう、いろいろな形で支援をしていきたい」と話した。